

JD Farag 牧師 中東アップデート 2017 年 10 月 22 日公開**カンファレンス報告、その他**

今日の預言アップデートは、この 2 週間私が本土に居る間に、神がしてくださった事を、まずシェアしたいと思います。これがどれほど素晴らしかったか、私がどれほど祝福されたか、言葉で表すのはとても難しいです。まず、Jan Markell さんの「Understanding the Times（時を理解する）カンファレンス」でスピーカーの一人として招待していただきましたが、これが今回の全行程のハイライトでした。その理由はたくさんありますが、その一つは、Jan さんのミニストリー 40 周年記念をお祝いした事です。その時、長年、私たちの人生の中で、神が Jan さんのミニストリーをどれほど偉大な形で用いてくださったかを、皆でシェアしました。私は、何年も前に Jan さんが私の預言アップデートを見始めた事が分かった時のことを話しました。私が初めてそれを聞いた時は、ものすごく緊張したのです。「Jan さんって、Markel I が？私のアップデートを？！」と。当時彼女が知らなかった事、知り得なかったのは、私は長年彼女の大ファンだったのです。神が私の人生の中で、彼女をものすごい形で用いてくださったのです。だから、このカンファレンスと、ミニストリーの 40 周年記念祝賀会に参加できた事は、本当に光栄だったのです。また、彼女と一緒に時間を過ごして、話しましたが、本当に祝福されました。私がとても祝福されたもう一つの理由は、大げさでなく、文字通り何百人という数のオンラインメンバーの方々にお会いできた事です。あそこの教会の収容人数限界まで、人々が溢れかえっていて、6 千人以上がカンファレンスに参加していましたが、彼らもその中に居たのです。このカンファレンスの中で、またカンファレンスを通して神がなされた事は、偉大だったと言うだけでは足りません。ものすごい祝福でした。ぜひ、皆さん Jan さんのウェブサイトを訪れて、カンファレンスの全メッセージが収録された DVD か CD を入手してください。このような経験は、私にとって初めてでした。私にとって、Jan さんに個人的にお会いするのは、これが初めてであっただけでなく、私たちのオンラインチャーチの皆さんにお会いするのも、今回が初めてでした。何度も言いますが、私がどれほど祝福されたか、表す言葉がありません。彼らは、自分達もこの教会の一員だと感じているのです。そして、聖餐式を YouTube に入れている事に、多くの人からお礼を言われました。彼らにとっては、それが共に主の食卓に与る唯一の時間なのだそうです。ともかく、皆さんにお礼を言って欲しいと彼らから頼まれました。私が本土へ行って、このカンファレンスで話すことを、みなさんが許可してくれたからです。その為、彼らに会う事が出来ましたから。

Jan さんのカンファレンスの後、「今、携挙が起こっても良い！」「最高だ！」と思っていたのですが、携挙は起こりませんでした。次に、リバティー大学へ向かいました。しかしながら、バージニア州のリンチバーグへは、私が望んだように、簡単には行きませんでした。まさにその時、ハリケーン・メイトが直撃したのです。その結果、私が乗るはずのアメリカン航空の便が、3 便欠航になりました。結局、私は丸一日ノースキャロライナの空港で過ごす羽目になって、主が、私をバージニアへ行かせてくださるのを待っていました。なんて言うと、すごく霊的に聞こえませんか？その時の私の行動は、まったく逆でした。「お客様のフライトが欠航になりました」とメールが届くたびに、神聖さなんてすっかり吹っ飛んで、サービスカウンターへ行きました。イエスの御名によって、他の便を確保しようとして、そしてキャンセル待ちで確保できたのです。そして、それがまた欠航になって、私は 3 度目の予約を入れました。これがリ

ンチバーグに夜遅く到着する便で、シャーロットを発つのが、夜の10時か11時だったと思います。そしてまさに、搭乗の為のゲートに向かって歩いていたら、またメールが来て、その飛行機に欠航になったと言うのです。この時にはさすがに、「主よ。分かりました。今、携挙が起これば最高です。」と。でも、それは起こらず。

とても面白いのが、今回、私がミネソタ、バージニア、オクラホマに行くという事で、たくさんのオンラインメンバーの方から「先生がこちらに来られるなら、ぜひお会いしたい。」と、メールが来ていました。なので、私の秘書に、私の携帯番号を渡してもらうように頼んであったのです。約束は出来ないことを前提に、私がそちらに居る間にメールを下さい、ぜひお会いしたい、と。皆さん、ぜひ知っておいてください。私は、オンラインメンバーの皆さんの事が大好きです。今回の旅の後は特に。という事で、私がまだシャーロットの空港に1日中居た時に、バージニア州リンチバーグに住んでいる、オンラインチャーチメンバーの1人からメールが届きました。予定では、その時到着する事になっていましたから、彼は私がすでに到着していると思って、「リンチバーグによろこそ！お疲れさまでした。お会いできるのを楽しみにしています。」という感じの内容でした。なので、「飛行機が欠航になって、まだノースカロライナに居ます。」と返信したのです。彼から返事が来て、「もし、バージニア州ロアノークまでの便が取れるなら、私がバージニアのリンチバーグからロアノークまで車で行って、先生をお迎えして、そのままリンチバーグのホテルの部屋までお送りします。」と言うのです。車で約1時間の距離です。この日は嵐で、しかも夜ですよ。私はびっくりして、返信して言いました。「本当に良いのですか？」すると彼は、「はい。」と。だから私は、「後でお電話します。」と返信して、アメリカン航空のサービスカウンターに行きました。そして交渉したのです。「今夜のロアノーク行の便に、乗せてくれませんか？」と言うと、彼は、「申し訳ございません。一番早い便で明日の朝になります。」と答えました。その時間なら、すでにリンチバーグ行の便を取ってありましたから、彼に電話して、ロアノーク行の便は取れそうにないと言ったのです。そしたら、それを言った瞬間に、チケット係りの男性が「1席空きが出ました」と言いました。私は「もらった！」と。そしてその席を確保して、電話をしました。これは夜11時半ごろの話ですよ。電話で、「本当に大丈夫ですか？たった今、ギリギリでキャンセルが出て、私がロアノーク行の最後の1席を確保しましたが、本当にわざわざ運転して、来てくれるのですか？」と聞きました。すると彼は、「大丈夫です。喜んでお伺いします。今からリンチバーグを出ます。」と言いました。そして、すごく面白い事があったのです。神はものすごいユーモアのセンスがありますよね？

そして彼は、空港まで私を迎えに来てくれました。私は、彼に会うのは初めてですよ？なのに、彼は言うのです。「JD先生。私は、先生に白状しなければならぬ事があります。」と。だから、私は「そうなの？！白状するって、何をですか？」と聞きました。そう言いながら内心、私は斧で殺人するのか？とか、イスラム国か？とか、これが私の終わりなのか？とか、思っていたのです。すると彼は言いました。「先生に白状します。」「私はものすごく具体的に祈ったのです。『先生に個人的にお会いできるように、神様、何かしてください。』と。」「本当にすみません！でも、先生の飛行機が欠航になるように、とは祈っていません。そこだけ明確にしておきます！！」と言ったのです。「が、神は」です。そして、彼は「おかげで、先生にお会いできただけでなく、先生と一緒に車で1時間も過ごせました。」と言い、彼が私をホテルまで送ってくれたのですが、あっという間に時間が過ぎました。その後、彼と彼の奥さんを食事にお連れすることが出来て、それはそれは素晴らしい交わりの時でした。

これは、神の栄光の為に、神がそのやり方で働くためには、私が、聖霊の働くすきを残しておかなければならない事を、私に思い出させる為の、神のやり方だったのだと思います。チャック・スミス牧師が良く言っていますが、「柔軟な者は幸いだ。彼らは折れてしまわない。」と。私ももっと柔軟にならなければなりません。だから、主は今回の事をされたのです。

リバティー大学では、私が大ファンだった、ED Heinsohn 博士にお会いして、お話しさせていただく機会に恵まれました。またオンラインメンバーの皆さんも、心から私たちをもてなしてくれました。ここの訪問のハイライトは、専門家の方々で、私は参加するのをとても楽しみにしていました。Heinsohn 博士に、Randall Price 博士が居て、さらに私の友アミールさんも居ましたから。これに参加するのが、本当に楽しみでした。そしたら、Heinsohn 博士が、自分の代わりに私が話しなさいと言われ、結局、私もこの専門家の中に加えていただいて、ものすごい祝福でした。リバティー大学の後、私はまた飛行機に乗って、この旅の最終章オクラホマ州ノーマンでの「祝福された希望・預言カンファレンス」に参加しました。これは、ライブ配信されたのですが、今でも登録してご覧になることが出来ると思います。

(prophecywatchers.com) このカンファレンスで、私がとても楽しみにしていたのは、Gary Stearman さんと、Bob Ulrich さん、その他大勢の講師たちにお会いする事でした。このメガ・カンファレンスで、総勢 31 名の講師がメッセージをしました。その中でも、私が特にお会いするのを楽しみにしていたのは、Andy Woods 博士と彼の奥さんで、昼食と夕食をご一緒させていただきました。ところで、皆さんには、ぜひこのカンファレンスでの Andy 先生の講演を聞くことをお勧めします。タイトルは「第二テサロニケ 2:3 には、携挙が書かれているのか？」です。ここは、背教として霊的に離れる事か、それとも携挙として肉体的に離れる事なのか、議論されている箇所です。今日は詳しくはお話しできませんが、御心ならば近い将来に、この箇所について再び触れたいと思います。Woods 先生は、色々な意味で真の学者で、私は彼をととても尊敬しています。この議論されている聖句に対する、彼の理解に関しては特に、です。

そして、Woody と Nancy に会ったのです。彼らの事をご存知ない方もいらっしゃると思いますが、この教会の地元メンバーだったのです。彼らは、このカンファレンスに出席するために、テキサスから、オクラホマまで運転してくれてきたのです。そして私も、彼らに会って、一緒に過ごし、一緒に食事をする事が出来ました。彼らがここに居ない事を、私たちは本当に寂しく思います。でも、彼らは来月の終わりに、ここに来て私たちを訪れてくれますから、それを楽しみにしていきましょう。

本土で話をさせていただいた事は、とても光栄な事でしたが、最後に、私にとってものすごい祝福だったのは、会って話し、一緒に写真を撮った何百人という数の人々です。本当にたくさんの人々が、私たちのオンライン YouTube のミニストーリーに感謝してくれていて、ほぼ全員が同じ事を言っていたように思います。聖書預言を教える教会が無いのだ、と。中には、御言葉を教える良い教会はあるようですが、ほとんどが聖書預言には触れもしないとのことです。

昨日、今日の預言アップデートの準備をしていた時に、Jan Markell さんから、クリスチャントウデイの去年の記事がメールで届きました。それによれば、牧師の内たった 3 分の 1 しか、終末神学について教えていないのだとか。これを見れば、なぜ何千人もの人が、預言カンファレンスに参加する為はるばる何百、中には何千マイルも離れた場所までやって来るのか、納得できます。普段聞けない話を聞くためと、

似たような意識の人々と共に過ごす為にです。

また、なぜ何万という数の人が、インターネットで聖書預言を学ぶのかも、理解できます。中には、どうかこれを止めないでください、と言う方も居ました。それに対して、私は止める気は全くないとお答えしました。たとえ私が止めたいと思ったとしても、神がそれを見逃されると思いますか？ヨナに聞いてみてください。彼はその結果どうなったか。私は、そんな事はしません。

正直言えば、この記事を見て、私は少し引いてしまいました。簡単に記事をお読みしますが、これはとても気になる、というより心が痛みます。これは牧師の話です。

——牧師の中で、4人に1人が、携拳は文字通りでない、と言います。ほぼ5人に1人が、携拳は大患難の後で起こると言います。何人かは、携拳がすでに起こったと信じています。——

これは、預言はすでに成就したという教えです。

——もしくは、大患難の最中に起こる、または、神の御怒り前携拳で知られる、神の御怒りが地上に下る前に起こると信じている。他は、これらのどれにも同意しないか、何が起こるかよく分かっていない。——

これだけでも十分酷いですが、この続きを聞いて下さい。私は、これがとても興味深いと思ったのですが、

——牧師たちの携拳観には、学歴と年齢が関係している。大学院卒、または博士号を持っている牧師は、大学を出ていないか、もしくは4年制大学卒の牧師よりも、携拳は文字通りではないと考える傾向にある。——

これは、私です。ところで、侮辱するつもりは全くありません。私は、彼ら学者たち、その多くは博士ですが、彼らにとっても憧れています。そんな大物の中で、私は全くの無名で、このカンファレンスの時は、大げさでなく、実際に全スピーカーの中で、テーブルが無かったのは私だけでした。なぜかと言えば、私は本を書いていないから。私には、テーブルの上に置くものが何も無いのです。ともかく、記事に戻ります。

——大学に出ていない牧師の内60%が、患難前携拳を信じている。——

こういった記事を読むたびに、私が思うのは、パウロがコリントの教会に言った事です。

“神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者を選ばれたのです。”（第一コリント1:27）

私はただのロバに過ぎず、神が私を通して語られるのです。

——対照的に、大学院を出ている牧師の 26%が、患難前携拳説を支持している。——

60%対 26%です。この対比を見てください。

——最後に、45 歳以下の牧師は、45 歳以上の牧師より、患難前携拳を信じる人が少ない。——

私は 55 歳ですから、これは納得ですよ。

——そして 45 歳以下は、どちらかと言えば、患難後携拳を信じる傾向にある。——

これが皮肉な事に、Jan さんのカンファレンスで私のメッセージの主題は、「なぜ携拳はいつでも起こり得るのか。」そして、Gary Stearmans 氏のカンファレンスでは、「旧約聖書の中の患難前携拳」。患難前携拳について、どれほど私が断定的であるか、感じていただけるでしょうか。まさにその通りです。

最後に、次の事をお伝えして終わりたいと思います。このような言い方をして申し訳ないのですが、今日、人々は教会の礼拝席に座って、「教会ごっこ」を演じている。それは、“牧師たちが説教台で黙っている”からです。次に、私がこんな事を言う理由です。

聖書預言を教える事は、私たちのこの世や、この世のものへのこだわりを緩め、次への備えをする為の効果があります。イエス・キリストが、携拳ですぐにも戻って来られることを期待しているクリスチャン達、そういう人達は、神の事に対して真剣に取り組みます。

今から 11 年前の 2006 年、主が実に私の心に重荷を置かれたのです。私たちは、世の終わりの時期にさしかかっている。今まで見た事もないレベル、これからも二度とないような状況だ、と。だから、当時私は週に 1 回聖書預言アップデートをしようと思った。そして、神の御言葉を探求し教えるのに加えて、終わりの時に関しても伝え始めようと思ったのです。主が戻って来られるのが近づいている事と、時代が終わりに近づいていると感じたためです。神が、この素晴らしい教会の、素晴らしいミニストリーを通して、全世界でこれを用いられるとは、私は全く考えもしませんでした。確実に、私たちは共感を呼んだのです。終わりの時に起こる事について、聖書には何と書いてあるのか知りたいという飢え渴きが、確実にあったのです。そして、その裏に何があったかといえば、その結果として、神が、この教会でされた事を、私は見てきました。私はこの何年もの間に、皆さんが成長されるのを見てきました。皆さんが、恵みの中に成長し、キリストにおいて成熟される様子を見てきました。すぐにでも起こり得る、主の戻りに対して、皆さんは、自分を備え、しっかりと立ってこられました。私が何を見て来たか、ご存知ですか？私が見てきたのは、ヨハネ牧師が第一ヨハネ 3:2-3 で書いている事です。

“愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストと似た者になることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。キリストに対するこの望みをいただく者はみな、キ

リストが清くあられるように自分を清くします。”（第一ヨハネ 3:2-3）

分かりますか？私たちは、主がすぐにも戻って来られるという、祝福された希望を持っている者です。私はこれを本土でも話しましたが、私は、これが祝福された希望だと信じています。携挙は、私たちの唯一の希望です。同感ですか？これが、私たちの唯一の希望です。ただ唯一これだけが、私に、朝起きて1日 を乗り越える力をくれます。ただ唯一これだけが、私に、夜、頭に枕して眠る事を可能にするのです。主が来られる、それもすぐに来られると知っている事。それがあから、私たちは神との関係を正しくしようとし、神の事のために生きようとします。神の御国を求めます。ちょっと説教くさいですが、皆さんお許しください。考えてみてください。これが、この希望ですよ。祝福された希望、この唯一の希望です。そのラッパはいつでも鳴り得るのです。そうすれば、キリストにある死者がまず初めによみがえり、次に生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、一携挙され—空中で主と会うのです。このようにして、私たちはいつまでも主とともにいる事になります（第一テサロニケ 4:16-17）。

分かりますか？これが、唯一私が正気でいられる理由です。私がこれを言う時、私は本気で言っているのだと、皆さんは分かりますよね？大げさな意味ではありません。この世で起こっている、あらゆる悪を見ていると、私は正気を失いそうになります。本当に心が引き裂かれそうで、心が潰れそうで、本当に嘆かわしい。

この為に、私たちは預言アップデートを行っているのです。神の人々に影響を与えるからです。この為に、私たちはイスラエルにフォーカスするのです。イスラエルは、神の預言時計です。聖書預言において、今が何時なのかを知りたければ、イスラエル、具体的にはエルサレムを見れば十分です。

ここ 2 週間で起こった件について、お話したいと思います。イスラエルとシリアについてです。恐らく皆さんは、これに関してほとんど耳にしていらないでしょう。政治とエンターテイメント界のスキャンダルで、すっかり隠れてしまっていますから。私には、もう見るに耐えかねます。私にはもう耐えられませんが、あれに関して、私たちがこれ以上知る必要がありますか？何かがある度に、私たちは何時間も、隅から隅まで知らされる必要がありますか？その間にも大勢の人がキリストのいない永遠に落ちて行っているのに。永遠に、です。なのに、私たちはこんなスキャンダルに気を取られていますか？こんな下品な事に。ただ、この男の為に祈ってください。彼にイエスが必要だと思いませんか？彼には、イエスが必要です。もしかしたら、この事で彼がキリストに立ち返るのかも知れない。これが、彼にとって唯一の希望です。彼らの為に祈ってください。

では、イスラエルとシリアについて何が展開したのか。これは非常に重要な事です。まずは、水曜の Arutz Sheva の報道から始めます。イランがシリアに協力した件についてです。これに私は、「シリア国内で」と付け加えておきます。

——イランが敵であるシオニストを滅ぼす目的で、シリア国内で、シリアに協力。——

報道によると、イランの参謀総長が、水曜に宣言したそうです。

——我々は、我々の共通の敵、シオニストとテロリストとの対峙に、協力、協調する為に、ダマスカスに到着した。——

テロリストとは、誰の事を指しているか分かりますか？ご想像の通り、イスラエルのベニヤミン・ネタニヤフ首相は、ただ座って、手をこまねいたりしません。Times of Israel の報道がそれを証明しています。彼とロシアの大統領ウラジミール・プーチンが、シリアの緊張感について、「イランは、ダマスカスから脅迫している。」と、語ったとのこと。私が、ここからどこへ向かおうとしているのか、皆さんはもうご存知ですね？Times 紙によると、

——2人の指導者達は、イランの核協議と、イラクのクルド人居住地について話し合った。モスクワによれば、これら全ての事は、アメリカのドナルド・トランプ大統領が、オバマのイラン核協議を再保証する事を拒否した（それに対して、彼を賞賛します。）背景で起こっているという事を、理解しておくのはとても重要だ。——

もはや驚きもしませんが、Ynet Newsによれば、モスクワは、「ロシアは引き続きイランの核協議に献身する」と、テヘランに伝えたとの事。これは、エゼキエル 38 章ではありませんか？それと、これはイザヤ 17 章ではないですか？これは、終わりの時にこうなると、私たちに伝えられているのと、全く同じではないですか？

“ダマスコは、取り去られて町でなくなり、廃墟となる。”（イザヤ 17:1）

現在、ダマスカスで起こっている事を見てください。イザヤ 17 章の預言は、エゼキエル 38 章へのきっかけになると私は思っています。ロシア、イラン、その他、現在すでに配置についている者たちが、シリアのダマスカスに相対して、イスラエルに攻めてきます。エゼキエル 38 章に書いてある通りに、です。とても興味深いのが、ヨハネの福音書の中で、イエスは次の事を 2 度言われました。

“わたしは、そのことの起こる前にあなた方に話しました。それが起こったときに、あなた方が信じる為です。”（ヨハネ 14:29）

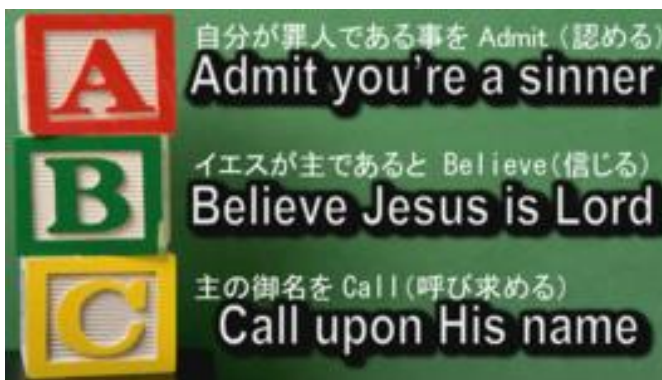
こんな発言は、他のどの宗教の書物にも、どの宗教の指導者にも出来ませんでした。ルカの福音書 21:28 で、イエスが言われた事は、皆さんも良くご存知でしょう。

“これらのことが起こり始めたなら、からだをまっすぐにして、頭を上げなさい。躓いが近づいたのです。”（ルカ 21:28）

最後に、良い知らせ、福音を伝えて終わりにしたいと思います。イエス・キリストによって得られる救いです。これもまた、オンラインのメンバーの方たちから聞いて、とても祝福されましたが、このシンプルな「救いの ABC」にとっても感謝されました。これがとても簡単だった為に、彼らの家族や友人、愛する人達が、どれほど救われたか、と言う証もたくさん聞きました。本来、子供にでも分かるほど簡単であるべきなのです。イエスは言われました。

“あなた方も子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には入れません。”（マタイ 18:3）

オンラインメンバーの何人かは、これを印刷して配布しているそうです。ケンタッキー州の女性刑務所では、この救いのABCを使って、囚人たちが救われているそうです。ちなみに、これは私が考えてものではありません。私はただ見つけて、とてもシンプルで、皆さんも、イエス・キリストの福音を伝えるのに使えると思ったのです。ともかく今日も、これを使ってお伝えします。今日、この教会に居る人の中、もしくは、世界のどこかから、オンラインでこれを見ている人の中で、これまでに、一度も主の御名を呼び求めた事の無い人、携挙が起こった時に、自分は連れていかれるか、残されるのか分からない人に。どうすれば救われるのか、ヨハネが言ったように、あなたにも、永遠の命があるのかどうか、どうすれば分かるのか、とてもシンプルに、説明したいと思います。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

これは、あなたが、自分が罪人であり、救い主が必要であると認め、認識する。ローマ書にはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」”

(ローマ 3:10)

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、” (ローマ 3:23)

私たち一人一人が、罪びとして生まれたのです。だから、私たちは天の御国に入る為には、霊的に新しく生まれなければならないのです。

“罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。” (ローマ 6:23)

B=Believe/信じる

イエスが主であると、あなたの心で信じるのです。ローマ書にはこうあります。

“あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。” (ローマ 10:9-10)

これによって、最後のCに繋がります。

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める、もしくは、イエス・キリストが主であると告白するのです。これもまたローマ 10:9-10 です。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせて下さったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”（ローマ 10:9-10）

そして最後は、ローマ 10:13 です。あなたが救われるためにすべき事はこれ。とてもシンプルです。シンプル過ぎるんじゃないかと思うほどです。あなたがすべき事は、ただ、

“主の御名を呼び求める者は、だれでも救われるのです。”（ローマ 10:13）

主の御名を呼び求める者は、“だれでも救われ”ます。もし、これまでに1度も主の御名を呼び求めた事の無い人は、どうか今日、呼び求めてください。

祈りましょう。

主よ。あなたの民の忍耐に感謝します。主よ、この教会とオンラインチャーチの義への飢え渴きに感謝します。そして、飢え渴く者は満たされるという約束が守られた事に感謝します。主よ。この飢えを満たすことの出来る方は、あなただけです。主よ。今日、これをオンラインで観ている人、もしくはこの教会の中で、自分が救われているのかどうか、定かでない人がいるなら、もしくは、これまでに一度もあなたの御名を呼び求めて救われていない人がいるなら、その人が、今日ここを去る前に、呼び求めますように。彼らがこれ以上先延ばしにしませんように。そのようなリスクをおかしませんように。今日、彼らがあなたの前で決心しますように。主よ。感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

へブル 4 : 7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>
Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい